

国土交通省委託事業 「多様な災害に対応した荷主・物流事業者のBCPに関するアンケート調査」

令和4年12月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

現在、弊社では、国土交通省から委託を受け、「多様な災害に対応したBCP策定ガイドラインに関する調査」を実施しております。本アンケートは、当該事業のために弊社が企画・実施するものです。ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ・本調査は、物流事業者の方々を対象としております。調査実施にあたっては、一般社団法人日本物流団体連合会、公益社団法人全日本トラック協会、一般社団法人日本倉庫協会のご協力をいただいております。調査票の送付先は、各団体の会員企業等、もしくは公開されている企業名簿から抽出させていただいた企業となっております。
- ・本調査は、物流における災害対策をお伺いする設問が中心となっております。ご回答は、貴社の危機管理・リスク管理担当の責任者の方をお願い致します。
- ・本調査は国内物流を対象とし、国際物流は対象外とします。
- ・各設問中、選択式の設問は、該当する番号に○印をつけてください。自由回答式の設問は（ ）内や枠内にそのままご記入ください。
- ・令和5年1月20日（金）までにご回答いただけますようお願いいたします。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にてご返送ください。
- ・電子ファイル（Excel形式）にて回答をご希望の方には、下記お問い合わせ先（bcpmurc@murc.jp）あてにご請求いただければ、折り返し調査票の電子ファイル（Excel形式）をお送りします。
- ・いただきましたご回答につきましてはすべて統計的に処理を行い、本調査の関係府省以外に個別企業・事業所の情報が開示されることは一切ございません。
- ・本調査の実施において、結果の集計は、株式会社エスミに再委託いたします。
- ・ご不明な点等がありましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

《お問い合わせ先》

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 多様な災害に対応した荷主・物流事業者のBCPに関するアンケート調査事務局
TEL：03-6228-1735（平日10:00～12:00、13:00～17:00 12/28午後～1/4を除く）
e-mail：bcpmurc@murc.jp 担当：川崎・原田

以下にご同意の上、ご記入ください。

【ご記入いただきました個人情報の取扱いについて】

本調査で収集した個人情報については、三菱UFJリサーチ&コンサルティングのホームページに掲載致しております「個人情報保護方針」及び「個人情報の取扱いについて」に従って適切に取扱います。

〈ご参考〉 <http://www.murc.jp/corporate/privacy> <http://www.murc.jp/privacy/>

【利用目的】

本調査でお預かりした個人情報は、本調査の分析・検討のために利用させていただきます。個々の調査票の結果やご回答内容が、貴社のご承諾がなく、回答した企業が分かる形で公表・掲載されることはございません。

【預託】

本調査でお預かりした個人情報は、集計作業等のために預託することがございます。その際には十分な個人情報保護水準を備える業者を選定し、契約等により保護水準を維持するよう管理します。

【個人情報をご記入いただけない場合】

個人情報のご記入は任意です。個人情報の収集に同意いただけない場合は、貴社名や所属部署名のみでもご記入いただけますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

本調査でお預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、上記お問い合わせ先までご連絡ください。

I 貴社概要及び貴社物流業務の概要についてお伺いします。

問1 貴社の業種についてお伺いします。(主要なもの1つだけ選択)

1. 総合物流業(各種物流業務を包括的に請け負う事業)
2. 道路貨物運送業
3. 倉庫業
4. 鉄道利用運送事業
5. 貨物利用運送事業(鉄道以外)
6. 鉄道業
7. 水運業
8. 航空運輸業
9. その他(具体的に:)

問2 貴社の資本金についてお伺いします。(1つだけ選択)

- | | | |
|-----------------|-------------------|---------------|
| 1. 5,000万円以下 | 2. 5,000万円超～1億円以下 | 3. 1億円超～3億円以下 |
| 4. 3億円超～100億円以下 | 5. 100億円超 | |

問3 貴社において取り扱う商品の品目についてお伺いします。(複数選択可)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 農水産品 | 2. 製造食品・食料工業品 |
| 3. 日用品 | 4. 衣服・身回品・はきもの |
| 5. 家具・装備品 | 6. 家電製品・その他機械類 |
| 7. 金属製品 | 8. 化学工業品 |
| 9. 繊維工業品 | 10. その他(具体的に:) |

問4 貴社において取り扱う商品の特性についてお伺いします。(複数選択可)

1. 食料品(一般消費者向け)
2. 食料品(業務用)
3. 食料品以外の商品(一般消費者向け)
4. 食料品以外の商品(業務用)
5. 他の商品の生産・製造に用いられる原材料・部品等
6. その他(具体的に:)

問5 貴社の主な顧客についてお伺いします。(最も当てはまるもの1つだけ選択)

1. 親会社である荷主企業(自社が物流子会社)
2. 親会社以外の荷主企業(自社が元請け)
3. 物流事業者(自社が他の物流事業者の下請け)
4. その他(具体的に:)

問6 物流センターの設置状況と設置箇所数についてお伺いします。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| 1. 親会社を対象とした物流センターを設置している(自社が物流子会社) | 設置箇所数:()箇所 |
| 2. 特定の荷主を対象とした物流センター(専用センター)を設置している | 設置箇所数:()箇所 |
| 3. 幅広い荷主を対象とした物流センター(汎用センター)を設置している | 設置箇所数:()箇所 |
| 4. 物流センターは設置していない | |

問7 道路貨物運送業の方にお伺いします。道路貨物運送業に係る貴社の車両数をご記入ください。(数字を記入)

車両数: 台

Ⅱ 近年の自然災害に対する物流面での対応についてお伺いします。

大雪や大雨等の風水害は、地震・津波と異なり、数日後の状況がある程度予測できることから、災害の発生が予測された後、発災前に一定の対策を講じることで、被害を最小化し、初動対応や復旧対策をより迅速に行える可能性があります。こうした「予測可能な自然災害」を中心として、近年の自然災害に対する物流面での対応についてお伺いします。

問8 過去10年間で、予測可能な自然災害（大雪・大雨・強風・高潮等）により、貴社の物流に支障・影響が出たことがありますか。（1つだけ選択）

＜近年の主な風水害等の自然災害＞

平成26年豪雪、平成29年7月九州北部豪雨、平成30年豪雪（北陸豪雪）、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、平成30年9月台風21号、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨、令和2年12月～3年2月豪雪

1. 予測可能な自然災害により、物流に支障・影響が出たことがある →各副問にご回答ください
2. 予測可能な自然災害により、物流に支障・影響が出たことはない →問9にお進みください

副問8-1 物流に支障・影響が出た災害名（不明な場合は時期・災害種別）を具体的にご記入ください。
（複数選択可）

1. 平成26年豪雪
2. 平成29年7月九州北部豪雨
3. 平成30年豪雪（北陸豪雪）
4. 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）
5. 平成30年9月台風21号
6. 令和元年房総半島台風
7. 令和元年東日本台風
8. 令和2年7月豪雨
9. 令和2年12月～3年2月豪雪
10. その他（具体的に

副問8-2 物流における支障・影響の内容として当てはまるものをお答えください。（複数選択可）

1. 物流拠点の機能停止・機能低下
2. 輸送インフラ（道路・トラック）の寸断・遅延
3. 輸送インフラ（鉄道、港湾・海運、空港・航空）の寸断・遅延
4. トラックの運転手・車両・燃料の不足
5. 情報システムの障害
6. 行政から要請される支援物資の提供等、災害時に求められる追加的な対応
7. その他（具体的に：

副問8-3 物流における支障・影響の内容を具体的にご記入ください。

副問8-4 副問8-1でご回答いただいた災害は、事前に貴社のBCPで想定されておりましたか。（1つだけ選択）

1. 同種の災害（大雪、大雨等）を想定したBCPを作成し、その被害想定に沿った対策は十分だった
2. 同種の災害（大雪、大雨等）を想定したBCPを作成していたが、その被害想定に沿った対策は不十分だった
3. BCPは作成していたが、同種の災害（大雪、大雨等）を想定したBCPを作成していなかった
4. BCPは作成していなかった
5. その他（具体的に：

副問8-5 災害の発生が予見された後、発災前に何か対策を取られましたか。(複数選択可)

1. 交通機関・輸送手段の計画運休等の情報収集
2. 荷主企業（貴社が下請けの場合は元請事業者）との災害対応に関する連絡・協議
3. 下請事業者との災害対応に関する連絡・協議
4. 自社の物流に関する輸送計画の中止・延期・変更（ルート・手段・スケジュール）等の対応
5. 物流拠点の休止等の対応
6. 被災を想定した事前対応（人的応援・支援、優先業務、代替施設移行、代替輸送等の事前準備、燃料確保等）
7. その他（具体的に：)
8. 特に対策を取らなかった →副問8-7にお進みください

副問8-6 災害の発生が予見された後、発災前に対策を取ったことによる効果について具体的にご記入ください。

副問8-7 事後的に、災害の発生が予見された時点で講じておくべきだったと考えられる対策はありますか。
(複数選択可)

1. 交通機関・輸送手段の計画運休等の情報収集
2. 荷主企業（貴社が下請けの場合は元請事業者）との災害対応に関する連絡・協議
3. 下請事業者との災害対応に関する連絡・協議
4. 自社の物流に関する輸送計画の中止・延期・変更（ルート・手段・スケジュール）等の対応
5. 物流拠点の休止等の対応
6. 被災を想定した事前対応（人的応援・支援、優先業務、代替施設移行、代替輸送等の事前準備、燃料確保等）
7. その他（具体的に：)
8. 特にない

問9 過去10年間で、予見不能な自然災害（予見可能な自然災害以外の地震・津波等）により、貴社の物流に支障・影響が出たことがありますか。(1つだけ選択)

1. 予見不能な自然災害により、物流に支障・影響が出たことがある →各副問にお答えください
2. 予見不能な自然災害により、物流に支障・影響が出たことはない →問10にお進みください

副問9-1 物流に支障・影響が出た災害名（不明な場合は時期・災害種別）を具体的にご記入ください。

副問9-2 物流における支障・影響の内容として当てはまるものをお答えください。(複数選択可)

1. 物流拠点の機能停止・機能低下
2. 輸送インフラ（道路・トラック）の寸断・遅延
3. 輸送インフラ（鉄道、港湾・海運、空港・航空）の寸断・遅延
4. トラックの運転手・車両・燃料の不足
5. 情報システムの障害
6. 行政から要請される支援物資の提供等、災害時に求められる追加的な対応
7. その他（具体的に：)

副問9-3 物流における支障・影響の内容を具体的にご記入ください。

Ⅲ BCP や災害対策マニュアル等における荷主（発荷主・着荷主）と物流事業者の連携に関する状況についてお伺いします。

問10 貴社ではBCPを策定していますか。（1つだけ選択）

1. BCPを策定している
2. BCPは策定していない →問12にお進みください

問11 貴社の物流に関するBCPで対象としているリスクをお答えください。（複数選択可）

1. 地震・津波（予見不能な自然災害）
2. 大雪・大雨等の風水害（予見可能な自然災害）
3. 感染症・パンデミック（新型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等）
4. その他（具体的に： _____）

問12 気象情報を通じて予見可能な自然災害（大雪・大雨・強風・高潮等）が予見された際の物流に関する対応として、貴社があらかじめ講じている対策（BCP以外を含む）についてお答えください。（複数選択可）

1. 交通機関・輸送手段の計画運休等の情報収集態勢の整備
2. 災害対応に関して発荷主となる荷主企業（貴社が下請けの場合は元請事業者）と協議できる態勢の構築
3. 災害対応に関して着荷主となる荷主企業と協議できる態勢の構築
4. 災害対応に関して下請けとなる物流事業者と協議できる態勢の構築
5. 輸送計画の中止・延期・変更に関する対応策の検討
6. 物流拠点の休止に関する対応策の検討
7. 被災を想定した事前対応（人的応援・支援、優先業務、代替施設移行、代替輸送等の事前準備、燃料確保等）
8. その他（具体的に： _____）
9. 特になし

問13 貴社の物流について、荷主企業（貴社が下請けの場合は元請事業者）に求める災害対策をお答えください。（複数選択可）

1. 緊急連絡先の共有、連絡手段の確保
2. 着荷主との緊急連絡先の共有、連絡手段の確保
3. 災害が予見される場合の計画運休等の情報や、発災後の被害情報の収集・共有方法の確保
4. 災害予見時の輸送手段の計画運休や物流拠点の計画休止等の対策
5. 物流拠点（建物・設備等）の耐震化・損壊対策・風水害対策
6. 非常用電源の確保
7. 物流拠点の複数化・分散化
8. 燃料の確保（インタンクの設置、調達先の複数化、優先供給契約等）
9. 優先業務、優先的に供給する商品の設定
10. 在庫の確保・積み増し
11. 物流情報システムのバックアップ・復旧対策
12. 緊急時における企業間物流情報共有の仕組みの構築
13. 災害対策のスキル・ノウハウを有する人材の育成・確保
14. 人的な支援・応援体制の整備
15. 災害対応の訓練の実施
16. その他（具体的に： _____）
17. 特になし

問14 荷主企業（貴社が下請けの場合は元請事業者）との災害対策に関する協力関係についてお答えください。以下の
中から当てはまるものをすべて選び、○印を付けてください。次に、○印を付けたそれぞれについて、その内容
が問13の選択肢のいずれに該当するか、番号を記入してください。さらに、具体的な内容をご記入ください。

1. 災害時の情報連絡方法を取り決めている （具体的な内容： _____)
2. 災害時の協力のあり方について具体的に協議・調整している （問13の選択肢の番号： _____) （具体的な内容： _____)
3. 荷主企業のBCP等の災害対策に自社からの要請・要望を反映してもらっている （問13の選択肢の番号： _____) （具体的な内容： _____)
4. 災害時の行動計画・行動マニュアル等を共有している （問13の選択肢の番号： _____) （具体的な内容： _____)
5. 災害時の応援・連携に関する協定・契約の締結等、協力を約束する文書を取り交わしている （問13の選択肢の番号： _____) （具体的な内容： _____)
6. 災害時の応援を実践できるように合同の訓練を実施している （具体的な内容： _____)
7. その他（具体的に： _____)
8. 特にない

問15 貴社の物流について、下請けとなる物流事業者に求める災害対策をお答えください。（複数選択可）

1. 緊急連絡先の共有、連絡手段の確保
2. 災害が予見される場合の計画運休等の情報や、発災後の被害情報の収集・共有方法の確保
3. 災害予見時の輸送手段の計画運休や物流拠点の計画休止等の対策
4. 物流拠点（建物・設備等）の耐震化・損壊対策・風水害対策
5. 非常用電源の確保
6. 物流拠点の複数化・分散化
7. 燃料の確保（インタンクの設置、調達先の複数化、優先供給契約等）
8. 輸送中の車両・貨物の位置情報の共有
9. 輸送手段の確保
10. 輸送手段・輸送ルートが多様化
11. 物流情報システムのバックアップ・復旧対策
12. 緊急時における企業間物流情報共有の仕組みの構築
13. 災害対策のスキル・ノウハウを有する人材の育成・確保
14. 人的な支援・応援体制の整備
15. 災害対応の訓練の実施
16. その他（具体的に： _____)
17. 特にない
18. 下請事業者を利用することはない →問17にお進みください

問16 下請けとなる物流事業者との災害対策に関する協力関係についてお答えください。以下の中から当てはまるものをすべて選び、○印を付けてください。次に、○印を付けたそれぞれについて、その内容が問15の選択肢のいずれに該当するか、番号を記入してください。さらに、具体的な内容をご記入ください。

1. 災害時の情報連絡方法を取り決めている (具体的な内容: _____))
2. 災害時の協力のあり方について具体的に協議・調整している (問15の選択肢の番号: _____) (具体的な内容: _____))
3. 下請事業者のBCP等の災害対策に自社からの要請・要望を反映してもらっている (問15の選択肢の番号: _____) (具体的な内容: _____))
4. 災害時の行動計画・行動マニュアル等を共有している (問15の選択肢の番号: _____) (具体的な内容: _____))
5. 災害時の応援・連携に関する協定・契約の締結等、協力を約束する文書を取り交わしている (問15の選択肢の番号: _____) (具体的な内容: _____))
6. 災害時の応援を実践できるように合同の訓練を実施している (具体的な内容: _____))
7. その他(具体的に: _____))
8. 特にない)

問17 災害対策に関して、荷主企業(貴社が下請けの場合は元請事業者)や下請事業者との連携にあたって課題となることをお答えください。(複数選択可)

1. 連携を担う人材が不足している	
2. 連携を進めるためのスキル・ノウハウが不足している	
3. 平時に災害時の対策を講じる余裕や態勢が無い	
4. 荷主企業との間で、災害対策に関する危機感や問題意識の隔たりが大きい	
5. 荷主企業との間で、具体的な対策内容や費用負担、リスク分担等に対する考え方に隔たりが大きい	
6. 下請事業者との間で、災害対策に関する危機感や問題意識の隔たりが大きい	
7. 下請事業者との間で、具体的な対策内容や費用負担、リスク分担等に対する考え方に隔たりが大きい	
8. 対策の実効性を高める訓練が実施できない	
9. その他(具体的に: _____))
10. 特にない	

副問17-1 荷主企業や下請事業者との連携にあたっての課題について具体的な内容をお答えください。

--

問18 前問でご回答いただいた課題の解決に当たって必要と思われることをお答えください。

--

IV 「多様な災害に対応したBCP策定ガイドライン」に関する意見・要望についてお伺いします。

本アンケート調査結果を踏まえ、大規模な自然災害時にもサプライチェーンを維持・早期復旧するため、多様な災害に対応し、荷主と物流事業者が互いに連携して災害対策に取り組むためのガイドライン（「多様な災害に対応したBCP策定ガイドライン」）を作成・公表することを予定しています。

問19 ガイドラインに盛り込むべき内容として、重要と思われることがあればご回答ください。

--

問20 ガイドラインを広く荷主・物流事業者にも周知し、活用を図るために必要と思われることがあればご回答ください。

--

V ご回答者について

問21 ご回答者の所属部署名・役職・連絡先等をご記入ください。※個人情報の管理につきましては、1ページをご参照ください。

貴社名			
ご住所			
所属部署名		役職・お名前	
e-mail		電話番号	

アンケートは以上で終わりです。ご協力をいただきまして有難うございました。